

| 授業科目コード | 0102300 | 授業科目名 | スポーツ文化論 | | 担当教員名 | 棚山 研 |
|---|--|---|---------|-----|---------------------------------|-------|
| 対象学部・学科 | | 分野区分 | 学年 | 単位数 | 学期 | 曜日・時限 |
| 現代社会学科 | | 専門 | 1 | 2 | 前期 | |
| ディプロマポリシー | | | | | | |
| DP1-2 経済・経営、国際英語、観光、スポーツのいずれかの分野での専門的な知識を修得している。 | | | | | | |
| レベル1 講義や資料収集を通じて、専門分野の学びの基礎概念を理解している。 | | | | | | |
| 授業のテーマ | | | | | | |
| オリンピックにも見られるように、スポーツは言葉や個別文化を超えて通じ合うことのできる固有の文化的特性を持っている。本講義では文化としてのスポーツの諸相をその思想や歴史的側面を中心に学習する。なお、「座学としてのスポーツ学入門」という位置づけも持っている。 | | | | | | |
| 授業の到達目標 | | | | | | |
| 到達目標1 | まず、スポーツをなぜ「学ぶ」のか？について理解し、説明できるようになる。 | | | | | |
| 到達目標2 | スポーツの歴史、思想、文化的な諸側面を学ぶことによって、「スポーツとは何か？」について理解する。 | | | | | |
| 到達目標3 | | | | | | |
| 到達目標4 | | | | | | |
| 到達目標5 | | | | | | |
| 受講上(授業外学習含む)の注意点 | | | | | | |
| 最初の出席チェックと、授業終了時の感想文等のチェックで出席を確定する。 | | | | | | |
| 関連科目 | | | | | | |
| 【履修を済ませていることが必須の科目】 | | | | | | |
| 【履修していること、履修することが望ましい科目】 総合講座(現代日本社会理解) | | | | | | |
| 教科書・参考書など | | | | | | |
| 〔参考書・その他〕 玉木正之『スポーツとは何か』講談社現代新書、その他適宜紹介する。 | | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | |
| 回数 | 項目 | 内容(予習復習指示などを含む) | | | 使用資料 | |
| 1 | 授業ガイダンス | | | | 毎回プリントを配布する。 必要に応じて、ビデオ上映する。 | |
| 2 | スポーツとは何か | オリンピックから見る「スポーツ」の「範囲」 「ニューススポーツ」と「スロースポーツ」 | | | 毎回プリントを配布する。 必要に応じて、ビデオ上映する。 | |
| 3 | 「日本のスポーツ百年」 | ビデオを中心に 「学生スポーツ」 | | | 毎回プリントを配布する。 必要に応じて、ビデオ上映する。 | |
| 4 | 日本人とスポーツ | 体育とスポーツの違い、武道の位置づけ 「体育とスポーツ」、「武道と武術」 | | | 毎回プリントを配布する。 必要に応じて、ビデオ上映する。 | |
| 5 | スポーツと学校 | スポーツはなぜ学校で行われるのか？ 「スポーツは人間形成に役立つか」、「スポーツ嫌いの視点」 | | | 毎回プリントを配布する。 必要に応じて、ビデオ上映する。 | |
| 6 | スポーツと精神主義 | 礼儀、上下関係、体罰 「部活の文化」、「集団主義と精神主義」 | | | 毎回プリントを配布する。 必要に応じて、ビデオ上映する。 | |
| 7 | 人権としてのスポーツ① | スポーツ・フォー・オール思想 「生涯スポーツ」、「レジャーとしてのスポーツ」 | | | 毎回プリントを配布する。 必要に応じて、ビデオ上映する。 | |
| 8 | 人権としてのスポーツ② | 「スポーツ基本法」制定の意義と課題 | | | 毎回プリントを配布する。 必要に応じて、ビデオ上映する。 | |
| 9 | スポーツの歴史① | 「近代以前のスポーツ」(ビデオ上映予定) 「遊びとスポーツ」 | | | 毎回プリントを配布する。 必要に応じて、ビデオ上映する。 | |
| 10 | スポーツの歴史② | 古代スポーツと近代スポーツ 「近代以前のスポーツ」、「近代スポーツとは」 | | | 毎回プリントを配布する。 必要に応じて、ビデオ上映する。 | |
| 11 | スポーツの歴史③ | イギリスにおける近代スポーツの成立 「イギリスから世界へ」、「スポーツとは何か」 | | | 毎回プリントを配布する。 必要に応じて、ビデオ上映する。 | |
| 12 | スポーツの歴史④ | ルールから見るスポーツ(ビデオ「サッカーの歴史」) 「アメリカ型スポーツの発展」 | | | 毎回プリントを配布する。 必要に応じて、ビデオ上映する。 | |
| 13 | スポーツの歴史⑤ | プロとアマチュア、「プロスポーツの発展」 | | | 毎回プリントを配布する。 必要に応じて、ビデオ上映する。 | |
| 14 | スポーツ文化の諸相① | 女性とスポーツ(ビデオ上映予定)、「スポーツにおける男性中心主義」、「女子マラソン」、「美を競うスポーツ」 | | | 毎回プリントを配布する。 必要に応じて、ビデオ上映する。 | |
| 15 | スポーツ文化の諸相② | ギャンブルとスポーツ、「賭け」 | | | 毎回プリントを配布する。 必要に応じて、ビデオ上映する。 | |
| | (試験) | 実施する | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|---|---|---------|-----|---------------------|-------|--|
| 授業科目コード | 0102300 | 授業科目名 | スポーツ文化論 | | 担当教員名 | 棚山 研 | |
| 対象学部・学科 | | 分野区分 | 学年 | 単位数 | 学期 | 曜日・時限 | |
| 現代社会学科 | | 専門 | 1 | 2 | 前期 | | |
| 成績評価基準 | | | | | | | |
| 成績評価基準項目 | | 内容等 | | | | 評価割合 | |
| 平常点 定期試験 | <p>平常点：受講態度を確認の上、出席6回以上から1回につき1点。6回未満は0点。遅刻はマイナス0.5点。提出物の未提出や白紙提出、受講態度が著しく悪い場合は0点。授業開始時の出席チェックはWebポータルを使って行う。ナンバー板書後1分間を有効とし、以降は遅刻扱いとする。</p> <p>定期試験：90点満点。600字以上必須の論述問題を必ず出題する。基本的に、出席回数に関わらず受講生全員に受験資格を与える。</p> | | | | 平常点：10% 定期試験：90% | | |
| 特徴ある授業方法 | | | | | | | |
| 学生への連絡事項 | | <p>【学生への要望】 テキスト・プリント文章等の音読を依頼することがあるので協力すること。</p> <p>【担当者への連絡方法】 講義中に指示する。</p> | | | | | |